

豊かで 住みよい 町づくり



2012

# 上勝

Vol.  
**47**

**議会だより**

2012. 11. 1 発行



## 9月 定例会

2P 補正 決算認定

6P 一般質問 7名が町政について質問

13P 研修報告 葉山風力発電所 高知県津野町  
広報議会だより 高知県越知町

14P 町内視察

ドクターヘリの訓練 (正木)

# 平成24年度 上勝町一般会計補正予算

(補正第2号)

追加 2億1,453万3千円  
 総額 28億3,078万円

質疑討論の結果 5対2で可決

平成24年9月定例会

一般会計補正

2億1,453万3千円

財政調整基金積立金  
 有害鳥獣買上金

9月定例会は、11日から25日までの会期で開き、平成24年度一般会計補正予算や歯科診療にともなう特別会計補正、国民健康保険(診療施設勘定)、急速充電設備にともなう火災予防条例の改正など8件と平成23年度各会計決算を可決・認定しました。  
 一般質問は、7人が町政について執行者の考えをただしました。

## 主な補正予算

総務費		商工費	
(企画費) ● 第27回 国民文化祭 開催事業補助金	412万5千円	● 上勝町雇用推進事業補助金	250万円
(民生費) ● ボランティア活動 支援強化事業	110万円	● 人材確保育成事業	240万円
(民生費) ● 放課後児童健全育成事業	141万8千円	● 遊休資源を活用した 定住促進事業	295万1千円
農林水産業費		土木費	
● 椎茸産地化推進事業	521万3千円	● 工事請負費(町単)	758万2千円
● 有害鳥獣買上金	900万円	● 町道維持管理賃金	250万1千円
● とくしま豊かな森づくり事業	146万円	教育費	
● 生実八重地線(林道)	250万円	● 奨学資金貸付金基金繰出	10万円

### 主な補正内容

総務費	財政調整基金積立金	1億5,700万円
企画費	第27回国民文化祭開催事業補助金	412万5千円
農林水産業費	林道建設費	345万3千円
	(生実八重地線・大川原旭丸線)	
	有害鳥獣買上金	900万円
民生費・農林水産業費・商工費	緊急雇用創出費	1千416万4千円

### 9月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	2億1,453万3千円	28億3,078万円
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	1,384万3千円
	国民健康保険(診療施設勘定)	160万9千円
		2億4,884万3千円
		1億1,090万7千円

**発議**  
 議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について  
**発議者** 明本議員  
 特別委員会出席時の弁償費用(一日1,500円)を廃止する。委員会等に出席するための日常活動は議員報酬に含まれており、報酬の二重取りであるとの住民の批判がある。

**反対** 岩本議員  
 そのような批判は町民から聞いた事がない。過大に言っているのでは。

**反対** 鹿島議員  
 特別委員会は主に広報委員会であり、委員の負担は大変大きく、不当なものではない。

**反対** 渡部議員  
 報酬ではなく費用弁償であり必要経費だ。

質疑討論の結果1対6で可決

# 平成23年度決算

歳入総額 **43億 354万9千円** 前年比 ▲1億7,145万1千円  
 歳出総額 **40億9,178万円** 前年比 ▲3,041万9千円  
 町債(借金) 残高 **25億9,306万円** 前年比 ▲1億3,715万円  
 基金(貯金) 残高 **37億 80万円** 前年比 +2億6,014万円

質疑討論の結果 6対1で可決

## 決算質疑

**明本議員** 雑収入にバイオからキックバックされた金がある。なぜ町に戻されたのか。  
**桑原参事兼企画環境課総括** ホダ木処分費用を町が出していたうち286万円が戻ってきた。

**片山議員** ゴミ処理の提案とは。  
**東企画環境課長** 一案として生ゴミ・し尿をメタン発酵・液肥にする。これは町単独で施設を作る必要がある。

**片山議員** もくさんが購入したラジキヤリは林業部廃止で用途がない。返還が妥当でないか。  
**横山産業課長** 県と協議中だ。

**渡部議員** プレミアム券に単に補助するのではなく、レジ袋削減などゴミゼロのアイデア付きにしないのか。  
**横山産業課長** 商工会と協議をしたいと思う。

### 経常収支比率

22年度 **79.9%**  
 23年度 **85.7%**

財政状況の弾力性と健全性を示す経常収支比率は80%以内が望ましいとされている。

### 23年度決算認定

**反対 明本議員** 榊上勝バイオのオガ粉返還費用支出は法律違反だ。  
**賛成 渡部議員** あの場合、早く送り返さないと上勝町に被害が出た。バイオは送り返す体力がなかった。  
**賛成 片山議員** 町は、町民の福祉のために最大の努力をする義務がある。あの場合、町が支出したのは止むを得なかった。

### 平成23年度 会計別決算額

	歳入	歳出	差引
一般会計	33億3,071万8千円	32億4,583万1千円	8,488万7千円
奨学資金	108万円	108万円	0円
国民健康保険(事業勘定)	3億1,914万5千円	2億5,352万1千円	6,562万4千円
介護保険	3億5,429万8千円	3億4,811万4千円	618万4千円
国民健康保険(診療施設勘定)	1億4,701万6千円	1億2,418万6千円	2,283万円
国民健康保険(福原診療施設勘定)	1,826万9千円	1,826万9千円	0万円
東地区簡易水道事業	7,250万2千円	4,072万円	3,178万2千円
西地区簡易水道事業	1,478万9千円	1,478万9千円	0円
いっきゅう地区簡易水道事業	1,106万4千円	1,106万4千円	0円
後期高齢者医療	3,352万1千円	3,305万9千円	46万2千円
高鉾財産区	57万8千円	57万8千円	0円
福原財産区	56万9千円	56万9千円	0円

(※歳入歳出決算額は決算書に基づくものです。)

## 補正質疑

**明本議員** とくしま豊かな森づくり事業とは。  
**横山産業課長** 上勝町内民有林を公有化する事業。  
**明本議員** 146万円の業務委託料とは。  
**横山産業課長** 測量費である。買取り価格はha50万円。県の事業で民間ではできない。中学校も入っている。このままでは森林の荒廃が進む。水源のかん養も含まれる。  
**明本議員** 測量費は無駄ではないか。国調費ですればよい。  
**横山産業課長** 5haは国調でできていない。5haは国調でできていない。

**武市議員** 上勝町雇用推進事業補助金は。  
**横山産業課長** 事業主が主体で50才以下年間120万円補助。  
**渡部議員** 香酸柑橘の果皮利用研究開発事業とは。  
**東企画環境課長** しほり粕の有効利用調査開発費である。  
**武市議員** 商工振興費3セク担当とは。  
**横山産業課長** 3セク指導、連絡調整の臨時雇用である。  
**討論**  
**反対 明本議員** 民有林購入は拙速すぎる。慎重にせよ。  
**賛成 鹿島議員** 外国資本が入っては困る。水源確保・一括買いのため購入すべきである。  
**反対 渡部議員** 3セク担当職員の費用は、人材が充分確保されており無駄である。

## 意見書

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求め意見書」を提出、6対1で採択。



CO<sub>2</sub>削減の切り札 森林

わが国は温室効果ガスを削減するにあたり、1/2以上を森林吸収量により確保するとしているが、今年10月1日より導入される「地球温暖化対策のための税」は森林面積を多く有する山村地域に恩恵のある使用道は示されていない。

### 要旨

森林の公益的機能に対する国民の関心と期待は大きくなってきている。二酸化炭素吸収源として、最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ「地球温暖化対策のための税」の一定割合を譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

### 提出先

衆議院議長 国家戦略担当大臣  
 参議院議長 農林水産大臣  
 内閣総理大臣 環境大臣  
 財務大臣 経済産業大臣  
 総務大臣





松下和照 議員

松下

町長

### 太陽光発電等自然エネルギーに過疎債の適用を

#### 公共性が認められる場合は適用可能

**問** 国の自然エネルギー買取り価格も決まった。6月議会で検討するとの事だったがどうなったか。

**答** 笠松町長 自然エネルギーの利用拡大について基本的に公共施設、公共性が認められる場合には積極的に導入を推進したい。

**問** 国も設置助成金を出し、他の市町村でも助成金を出している。個人に使えないとすれば他の方法を考えてはどうか。

**答** 笠松町長 有利な買取り価格が決まり、個人施設に補助金を出すと

不公平が生じる。非常に難しい。  
**問** 再生エネルギーの設置をしない者は毎年電気代の負担のみを背負う事となるが。

**答** 森特命参事 政府は2030年代原発稼働ゼロを目指して、再生可能エネルギーの普及に期待している。エネルギーの買取り金額が増えれば個人の負担が増す。本町も太陽光等の設置場所を募集し、推進に努めたい。

#### 現在上勝町の主食の需給バランスは

**問** 国全体の食料の需給バランスは40%を切ると言われている。上勝町はどの程度か。

**答** 横山産業課長 水稲の作付面積はおおよそ63ha、平均反収371kgで23万3,720kgで、消費は1人年間62kg。それに町民1,892名を掛けると11万3,304kgで自給率は199%となる。

**問** 地区別の水稲作付面積は。

**答** 横山産業課長 地目水田で156・68ha、共済引受面積は33・3ha、内訳は旭12・34ha、生実11・18ha、福原3・66ha、傍示3・46ha、正木2・66haとなっている。



小松島西高校勝浦校稲刈体験

**問** 高齢化によって労働力不足で耕作出来ない農家の為に、生産及び管理作業を支援する組織を作ってはどうか。

**答** 横山産業課長 現在重点雇用事業の中で上勝町遊休農地活用事業を展開しており、これから実施状況を見た上で検討したい。

**問** 棚田の保全、床直しや畦の修復に過疎債を充て、支援する考えはあるか何う。

**答** 笠松町長 集落再生で話をまとめていたが、政策面で考えていきたい。住民の意欲が一番。充分論議して支援策を講じたい。

**問** 本当に過疎債を集落再生で届ければ使えるのか。

**答** 笠松町長 これについては具体的に慎重に検討したい。コケの評価も高まって居り生態系をいかに保全するか考える。

#### 山犬嶽のコケの保護を

**問** 今年は登山者が多く、日増しにコケがいたんでいる。

**答** 柏木教育長 将来的には景観計画範囲となる。未だコケの調査も進んでいない。今後現状把握に努め、保護対策を検討する。

**問** 登山者が急増しているが、トイレと駐車場がない。

**答** 笠松町長 これについては具体的に慎重に検討したい。コケの評価も高まって居り生態系をいかに保全するか考える。

### 2007年国民文化祭アート作品活用策は

武市

上勝アート里山の彩生研究会で協議を進めている

企画環境課長

**問** 国文祭で作成されたアート作品は計画的に活用されているか。

**答** 東企画環境課長

上勝アート里山の彩生研究会を設置、地区活動へ支援、ワークショップ等、地域のアイデア努力で利用されている。今後も地元の協力を得ながら進めたい。

#### 重要文化的景観地区選定等どう活かす

**問** 檜原地区の重要な文化的景観、文化的遺産も良いが、地域に経済効果をもたらす施策は。

**問** 山犬嶽等観光資源を活かすためにも、景観に配慮した駐車場、トイレの設置を。

#### 山犬嶽、檜原の棚田に駐車場、トイレは

**答** 山田教育委員会事務局長 平成22年に文化庁より重要文化的景観の選定、25年1月に追加選定の申し出予定。景観整備検討会で検討していく。

#### 町道大平中央線拡幅工事など安全対策は

**問** 山犬嶽等観光資源を活かすためにも、景観に配慮した駐車場、トイレの設置を。

**答** 笠松町長 非常に難しい。トイレについて要望で設置した箇所があるが、清掃の管理といった継続管理を誰が責任を持つてするか、地元の充分な対応意見、景観とどう調和させるか審議会で検討する。

**答** 笠松町長 維持管理など地元の熱意による町としてもしないというのではない。用地、管理面でのクリア等、地域で前向きな議論を願いたい。

**問** 大平線の交通量が増している。急勾配、道幅等危険度の高い状況にあるが、安全性、利便性、住環境面から拡幅工事の

#### 地域の住環境、農地、道路の環境改善等景観整備は

**問** 住居周辺、町道の雑草、支障木など地域の高齢化や転出不在家庭の増加等で管理が行き届かない所がある。周辺地域が行う景観整備に支援策は。

**答** 桑原参事兼企画環境課総括 集落自らプロジェクト事業で集中的具体策の提案を。要望によって陰切り、中山間直払い制度の活用、専門的作業員による必要性も。具体的提案により検討。

**問** 管理が行き届いていない町道管理については。

**答** 長岡参事兼建設課長 具体的場所について要望があったら現地調査し、対応を考えたい。



武市功 議員

**問** 地元の意向が高まれば、施設設置の可能性はあるのか。



町道 大平中央線



片山文昭 議員

### 林業素材生産の後継者育成は 片山

### 農業とか組み合わせ 新たな発想で取り組みたい 町長

#### 後継者は 何人育ったのか

**問** 育成できた後継者の就職先は確保できているのか。

**答** 横山産業課長 技術の取得を目的としている。就職斡旋的な取り組みはしていない。

**問** 2名に付いては、技術取得が出来たのだから最後まで面倒を見てあげべきでないか。

**答** 横山産業課長 自分で探するのが基本になっている。

**問** 今後の育成はどのようにして実施していくのか。

**問** (株)もくさんにおいて、林業素材生産者育成を実施していたが、廃止になったと聞く。今までに何人の受入れをして何人の後継者が育ったのか。

**答** 横山産業課長 研修者6名で最終2名が残った。

**答** 笠松町長 農業とか組み合わせで一年中仕事が出来るとして、仕組みを行政主導で作り、それに町が支援する。森林組合等より知恵を出して頂き、新たな発想で取り組みたい。

### 高鉾公民館の 新築計画は

**問** 新築計画は進んでいるか。

**答** 柏木教育長 耐震の値が、倒壊の恐れがある非常に危険な建物でない壊すのもつたいないと言える結果であり、今後当分の間は現施設を利用する。

### 再生エネルギーの利用を

**問** 小中学校に設置した太陽光で発電し電力の売電額はいくらか。

**答** 山田教育委員会事務局長 導入前と比べ、平成23年1年間で小学校で約42

万円、中学校で約70万円の導入効果があった。

**問** 新しい公共で計画している、小水力発電の設置はいつごろになるのか。

**答** 東企画環境課長 石本製材跡地は、費用対効果等により設置は難しい。清井製材跡地は、最高出力10キロワット程度で検討、交渉が進めば、年度内に発電が開始できる。



上勝中学校太陽光発電モニター



渡部厚子 議員

### 住宅入居は 公募で公平に

渡部

### 町職員を最優先

町長

**問** 町営住宅が空いたので公募を待っていたら、いつの間にか誰か入居していた。おかしくないか。

**答** 花本参事兼総務課長 町職員はどうしても町内に住んで、町民を守る奉仕者として勤務してもらわねばならない。町職員を優先して入れている。

**問** 町外から通っている職員もたくさん居るではないか。

民間企業は人が足りないとい潰れることもある。役場は町民に仕えるためにあるのに立場が逆転していないか。希望者多数なら住民も入れて選考すべきだ。

**答** 笠松町長 そんな質問をするなら、別に官舎を建てなければならぬ。住宅を増やすのが先決と考えている。

### 水力を止めて風車を回すのはムダ 火力は調整しにくいので当然 町長

**問** 風力発電の電気は不安定。ヨーロッパではバックアップのために火力発電所が増えたとか、火力の効率が低下して燃料代が増えたなどと言われている。

また、(株)ユーラスの親会社は東京電力で、原発事故の責任も取れていな

い。そこが、代替エネルギーで高額な電気代を市民から取るうとしている。

**答** 笠松町長 確かに太陽光や風力発電の変動は火力や水力で調整しているが、バックアップではなく、火力の燃料をセーブするための一体運用と考えられている。風力、太陽光が増えて調整困難な状況では風力の出力を落とす、切り離す方法も想定されている。

**問** 一番安い水力発電を止めて、風車を回すのは意味がない。

また、電力調整のために風力を落とすということは回っているのに電気が使えないということだ。風力は投資の割に利用率が少ない。

**答** 笠松町長 石炭火力は調整しにくいので水力でやるのは当然だ。もっと勉強したい。

### 子供達に 川遊びを

**問** 今年には川の事故が多かった。学校では、どのような指導をしているか。

**答** 柏木教育長 小学生は子供だけの川遊びは禁止、中学生は、保護者が予定を確認するようお願いしている。

**問** 子供達が川遊びをしなると、将来川を知る人がいなくなる。里山倶楽部が「森のようちえん、川遊び」をこ

の夏に行ない、とても好評だった。保育園の段階からこういう取組みを回数多く行なって、川を知ってもらおうプログラムを組めないか。

**答** 笠松町長 自然の楽しさ、恐ろしさを知り、感性を養うのは非常に重要だ。教育委員会と共に検討をしていきたい。

他に、風車の景観に対する影響、晩茶の歴史収集、木質チップ製造、町有民具保管法、薬草サミットについて質問した。



川遊びができる工夫を

# 葉山風力発電所の実情

高知県津野町

平成24年8月20日



変電所にて説明を受ける

上勝町にも風力発電事業が検討されており議会としても調査、研究をつづけている。その一環として広報委員会5名の議員で高知県津野町を訪問した。

事業者、(株)葉山風力発電所、現在の資本比率、双日(株)100%、(旧)二チメン、旧日商若井) 事業費40億円程度(3分の1補助金、事業規模発電タワー1,000kW×20基年間発電量4,800万kW、(一般家庭約13,000世帯分に相当) 操業開始日、平成18年3月22日、風車の高さハブ高68m、最大高98・7m、事業用地、行政が民有地を買い上げて事業者に賃貸している(年間100万円)。発電した電気は送電線で仁淀川町の大渡ダムに送電して四国電力に売電している。

詳細については津野町役場企画調整課、岡崎課長補佐、同・福井氏に話を伺う、現場では(株)葉山風力発電所、川内電気主任、同・下元技術員より説明を受ける。

行政メリットとしては償却資産の税込、法人税収、建設事業量の確保(20億円)、観光、交流事業への波及効果、雇用拡大(若手)などがある。23年度は2,300万円が町の収入となった。風車が立つ場所は標高1,000mで45kmにおよび、間隔は180m、200mである。民家は直線にして500m位の所に10集落があるが、風車が立つ尾根から山が急斜面のため騒音はほとんど無く問題はないとのこと。低周波の問題も全く報告されていないようである。一番困る事は何かと訊ねると、事業を撤退される事との返事が返ってきた。本町とは少し事情がちがうようである。

(右本)

鹿島

# 風力発電について なぜ上勝町・神山町に決まったのか

企画環境課長



鹿島 國男 議員

## 大川原ウインドファームの実績を見て

**問** 上勝町・神山町ウインドファームの計画は、どのようにして決まったのか。

**答** 東企画環境課長  
NEDO独立行政法人新エネルギー、産業技術総合開発機構などの風況マップや大川原ウインドファームの実績等を見て、又、広域基幹林道の開通が見込まれるので選定した。

**問** 株式会社ユーラスエナジーホールディングスの閲覧の資料には、計画地に湧水は存在しないと書いてあったが、実際に

は、東簡易水道の水源地がある。利用している人達の意見は十分に聞いているのか。

**答** 東企画環境課長  
株式会社ユーラスエナジーに対して、水源地の件も含め、町民の意見を十分に聞いてもらえるように要請した。



風力発電

**問** 建設地までの道路は、株式会社ユーラスエナジー側が費用を負担してくれるのか。

**答** 東企画環境課長  
広域基幹道を利用し、そこから建設地までは、株式会社ユーラスエナジーが負担する予定となっている。

### 県道の雑草について

**問** 毎回のように県道の雑草の草刈りを聞いているが、どのように考えているか。

**答** 花本参事兼総務課長  
地域の安全を守る会が中心となってボランティアでしていたが、高齢になり、高所で危険なために今はしていない。今後草刈りをしていただける人や関係機関などと調整し具体化したい。

### 商工会の事務所について

**問** 商工会の事務所が雨漏りをしているが、指定管理に問題はないのか。

**答** 横山産業課長  
現在の施設は、このところ、商工会が指定管理している。4月から再更新しているが、その時点では雨漏りはしていなかった。商工会と協議したい。

### エコモビリティについて

**問** エコモビリティの結果はどうであったか。

**答** 桑原参事兼住民課長  
実証実験では、診療所への通院、買物、友人宅の訪問、理髪、温泉、農家の手伝い、マツサージ等への移動に延べ488人が利用した。①町外への希望、②夜間の希望、③予約が集中、④無料のため利用した等。陸運局への許可の申請は、8月27日にした。認可されれば、3台の車で町内、勝浦町の11ヶ所への運送が開始される予定。

他に、日本で最も美しい村連合と世界で最も美しい村連合のことも質問した。

# 高知県越知町議会を訪ねて

高知県越知町

平成24年8月21日

### 研修内容

議会だよりの取り組みについて  
編集方針・編集方法・編集日程・予算・その他

### 越知町の概要

高知市より西方32kmに位置し、標高300から900メートルの石鎚山系の支脈に囲まれた中山間地域で、国道33号線が町の中央を横断している。人口6,390人。財政予算額45億4,473万8千円。議員定数12人。越知町議会だより、23年度全国コンクール奨励賞等、7年連続入賞。

越知町広報委員5人と議長、事務局長、上勝町広報委員5人で質疑意見交換方式で研修。

越知町議会では、議会だよりの編集に当たり、議会の独自性、主体性を維持し、議事公開の原則に則り、議会活動全般を公正で客観的に据え、分かりやすく読みやすい内容を確かかつ簡潔にまとめることを基本とし、読む人の側に立



会議室にて意見交換

った編集姿勢を心がけ、より多くの町民の方々に親しんでもらえる紙面づくりに努めるとしている。

町民の皆さんに読んでいただける議会広報づくりをすることにより、議員自身の資質向上につなげる活動的な議会活動で町づくりを進めていく、そんな思い入れを感じる研修であった。今回の視察研修を糧にし、親しみ読んでいただける、上勝議会だよりづくりを進めて行きたいと深く感じた研修であった。

(武市)

# 町内視察



ユーラスエナジー 風力発電設置計画予定地（高鉾財産区林）



大川原風力発電施設



神田集落再生プロジェクト 神田茶屋（仮称）



東簡易水道取水口



八重地茅葺レストラン



檜原谷砂防堰堤（堂平）

## 編集後記

雨天候の合間をぬって苦闘の農作業を強いられた今秋の収穫期、10月に入りやっと天高く味覚の秋の訪れを感じる気候になった。

伝統の祭囃子が、政局に明け暮れる国民不在の政治を払拭するかのよう、軽快に里山に響き心を和ませてくれた。やがて紅葉の季節へと、何事もなかったかのように、自然はありのままの姿で感動を与えてくれる。

過疎少子高齢化と地域の抱える課題は山積、名実ともに幸福感が感じられるまちづくり、何かをしなければ…

（武市）



町産材を使った宿泊施設（大北）